



静岡県の新型コロナウイルスの感染状況や医療ひっ迫状況等は 1月11日から
国評価レベル 2（警戒を強化すべきレベル）に上がっています。

1月14日（金）現在

**本県の新型コロナウイルスの感染状況や医療ひっ迫状況等は
国評価レベル 2（警戒を強化すべきレベル）です**

本県では、人口10万人当たりの新規感染者数が30人となり、**急激なスピードで感染拡大が進行**しています。

オミクロン株は、感染力が非常に強い一方で、デルタ株と比べ重症化しにくいとの情報がありますが、これに**油断してはいけません**。

感染者数の大幅な増加は、重症化率が低くても、入院が必要な患者数の増加に繋がり、**病床のひっ迫に繋がってきます**。

また、**医療関係者をはじめ、私達の生活に関わる様々な職業に従事する方々への感染拡大が進み、社会機能そのものの低下に直結**します。

オミクロン株の感染拡大は、既に市中感染段階です。こども園、学校、事業所、飲食店、知人の集まりなど、**生活の様々な場面でクラスターが発生**しています。

県民の皆様には、**マスクの着用、手指の消毒、密の回避など、今一度、基本的な感染防止対策を徹底**してください。

また、既に相手が感染しているかも知れないという意識をお持ちいただき、**大人数での集まりや混雑を避けるなど、感染リスクを回避する行動をお取りくださるようお願い**いたします。

引用：静岡県公式ホームページ

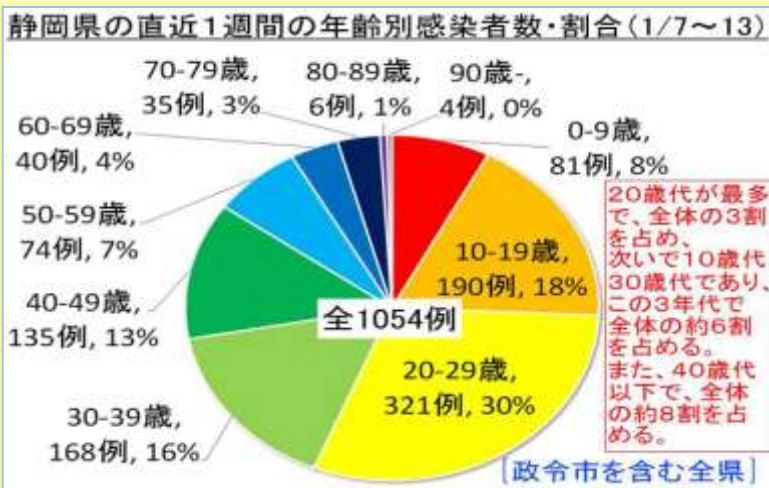
1月13日現在

病床占有率	
レベル判定の目安	
3	50%以上
2	20%以上
1	20%未満

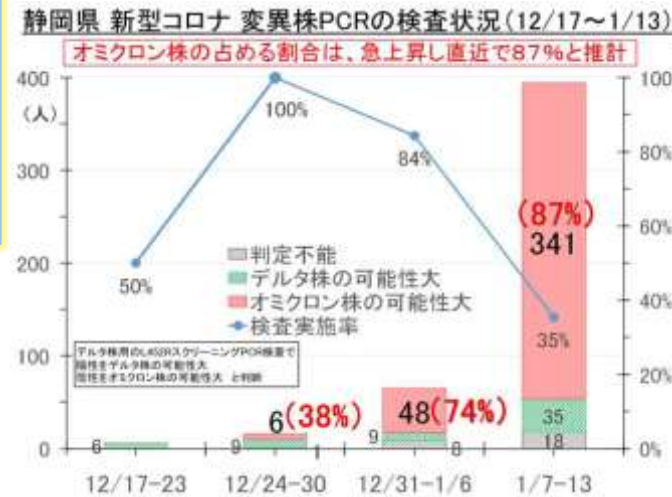
8.1%

10万人当たり新規陽性者数	
レベル判定の目安	
3	7.5人以上
2	
1	7.5人未満

30.0人



少し体調が変、軽いかぜ症状だけでも、大学は休み、外出もしないで。



「オミクロン株」の感染拡大を受けて、厚生労働省は14日、感染者の濃厚接触者の待機期間を現在の14日間から10日間に短縮すると発表した。警察や保育、介護職員など、社会機能維持に必要な「エッセンシャルワーカー」に限り、最短で待機6日目の検査で陰性なら解除できる。対象職種などは感染状況を踏まえて自治体が判断する。海外のオミクロン株流行国から到着した入国者に求める自主待機も14日間から10日間に短縮する。…(中略)…国内の疫学調査で得られた情報などを国立感染症研究所が分析した結果、オミクロン株の潜伏期間は3日程度で、10日を超えることは極めてまれだと分かったことなどを踏まえ見直した。

引用：東京新聞

オミクロン株でわかっていること

- ・ワクチン2回接種済でも罹患(軽症が多い)
- ・軽症、無症状者でも**オミクロン後遺症を警戒**
- ・オミクロン株に多い症状：のどの痛み・発熱・咳・鼻水・だるさ
- ・感染者増加で医療ひっ迫で、健康弱者に悪影響